

2 学期学校評価アンケート結果

12月に実施した学校評価アンケート結果についてお知らせします。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

＜結果の見方＞

○1学期と比較しました。

○質問の回答は、4・3を肯定的評価、2・1を否定的評価としました。

(例) 4: そう思う 3: ややそう思う 2: あまりそう思わない 1: そう思わない

○結果は、肯定的評価の割合を%で示しました。

【家庭学習の習慣化】

生徒質問 1 学校の授業以外に、平日一日当たりの学年の目標時間（1年80分、2年90分、3年100分）を達成していますか。

2 学 期				1 学 期			
1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体	1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体
5 5	7 3	6 0	6 2 ↑	5 0	7 4	4 3	5 5

保護者質問 19 家庭学習の習慣化を図るために、「家庭学習強調週間」の設定等の取組を行いました。子どもたちは家庭学習をするようになっていきますか。

2 学 期				1 学 期			
1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体	1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体
5 8	7 4	6 1	6 4 ↓	5 9	6 8	7 2	6 6

生徒と保護者の違いが明らかです。毎日、机に向かう学習の習慣化を図るよう指導を継続します。また、効果的な学習方法を学びあったり紹介したりして、学習の実（じつ）を上げる手立てをさらに講じていきます。



【学習内容の理解】

生徒質問 5 学習内容が理解できていると感じていますか。

2 学 期				1 学 期			
1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体	1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体
8 2	7 8	7 9	8 0 ↓	8 7	8 1	7 8	8 2

保護者質問 8 授業が分かっていると思いますか。

今 年 度				1 学 期			
1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体	1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体
5 2	6 0	5 8	5 7 ↓	6 4	6 4	5 8	6 2

生徒と保護者の意識に大きな差があります。学年が上がるにつれて学習内容が難しくなっていきます。基礎学力の定着を図り、分かりやすい授業に努めます。質問教室等を定期的実施するとともに、生徒がかかわり合いながら学びを深める「三条市授業スタンダード」に引き続き取り組みます。

【あいさつ】

生徒質問 13 地域の人に対して、自分から進んであいさつしていますか。

2 学 期				1 学 期			
1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体	1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体
7 9	8 8	9 0	8 6 ↓	9 1	9 5	9 1	9 2

保護者質問 18 四つ葉学園で取り組んだあいさつ運動を通して、子どもたちは「あいさつ」ができるようになっていきますか。

今 年 度				昨 年 度			
1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体	1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体
8 6	9 0	8 8	8 8 ↓	9 5	9 3	9 5	9 4

コミュニティスクールの委員から、「発表する生徒の声が小さい。」という意見を複数いただきました。大声を張り上げる必要はありませんが、場に合った声の大きさは、あいさつにも通ずると考えます。取組を継続します。



【助け合い・思いやり】

生徒質問 14 人が困っているときは、進んで助けていますか。

2 学 期				1 学 期			
1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体	1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体
9 7	9 0	9 4	9 4 →	9 4	9 1	9 7	9 4

保護者質問 9 思いやりの心が育ってきていると思いますか。

2 学 期				1 学 期			
1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体	1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体
9 0	9 2	9 7	9 3 ↓	9 3	9 3	9 6	9 4

相手の立場になって考え、行動できることはとても素晴らしいことです。家庭と連携し、良いことはほめ、悪いことは注意する。メリハリをつけて、これからも指導してまいります。



【将来の夢】

生徒質問 8 将来の夢や希望をもっていますか。

2 学 期				1 学 期			
1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体	1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体
7 0	7 3	7 7	7 4 ↓	7 9	8 0	7 2	7 7

校外に出かけ、職場体験や職場訪問、上級学校訪問などに取り組みました。生徒は働くことの大切さを直に学びました。しかし、まだ「将来の職業は決まっていない」と返答する生徒が多いのが現状です。少しずつ、将来への夢や希望を育みたいと考えています。引き続き取り組んでいきます。



【生活リズム】

生徒質問 30 よりよい生活習慣を身に付けるために、「健康生活向上週間」や眠育等の取組を行いました。あなたは規則正しい生活習慣ができていますか。

2 学 期				1 学 期			
1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体	1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体
7 9	8 7	8 3	8 3 ↓	7 9	8 6	8 7	8 4

保護者質問 20 よりよい生活習慣を身に付けさせるために、「健康生活向上週間」の設定や「眠育」等に取り組んでいますが、睡眠時間が一定になる等、子どもたちの生活習慣は向上していますか。

2 学 期				1 学 期			
1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体	1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体
6 0	7 4	6 6	6 6 ↓	7 0	7 3	6 7	6 9

生徒と保護者の意識に差があります。学校では、家庭学習開始時間、就寝時間、起床時間を毎日、同じにして習慣化することに取り組んでいます。「ただ、できた」ではなく、「親から言われなくても自分でできたかどうか」が大切です。引き続き取り組みます。



【メディア時間】

生徒質問 28 平日のメディア時間（ゲーム、SNS、パソコン等）は、一日当たり合計どれくらいですか。（2時間以内を肯定的評価としています）

2 学 期				1 学 期			
1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体	1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体
4 8	6 0	5 3	5 3 ↑	5 0	6 0	4 8	5 2

保護者質問 4 お子様は「21時以降、双方向通信（LINE、メール等）」をしないことを守れていますか。

2 学 期				1 学 期			
1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体	1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体
7 2	7 2	4 8	6 3 ↓	6 4	7 6	5 4	6 4

1学期同様の割合でした。メディアとのかかわりを否定しません。しかし、そのことが睡眠不足、授業への集中力低下、学校で体調を崩すことにつながっている生徒が実際にいます。メディアと上手に付き合えるよう、指導を継続します。



【学校・職員】

生徒質問 9 学校は居心地良く、安心して生活できる場になっていますか。

2 学 期				1 学 期			
1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体	1 年 生	2 年 生	3 年 生	学 校 全 体

97	92	97	96↑	91	97	96	94
保護者質問 14 教職員は、相談などに誠意ある対応をしていますか。							
今年度				昨年度			
1年生	2年生	3年生	学校全体	1年生	2年生	3年生	学校全体
82	94	94	90↓	88	98	89	91

「子どもの成長には、いろいろなことがあって当たり前」だと思っています。だからこそ、家庭と学校が互いに相談できることがとても大切です。「子どものために」という共通のベクトルで対応できる力を注ぎます。



【自由記述】

○自転車小屋周りの街灯がなく真っ暗である。子どもに確認するとライトはあるけど点かなくなると言っている。防犯を兼ね、至急点検してほしい。

ライトはタイマー式になっており、ご指摘の通り、老朽化から点かないものもあります。市教委へ修理要望を上げています。また、部活動終了時は職員が声かけに行っています。対応を続けます。

○資源回収は廃止してほしい。やめて困ることはないと思う。

毎年、お声をいただいています。これまでの歴史を踏まえながら、様々な点を考慮して検討を進めていきます。

○登下校の仕方を指導してほしい。道の両側を、傘をさして歩いていて安全確保ができない。車にぶつかる。

地域の方からも「道を広がって歩いている。」「自転車の一時停止ができていない。」などの声を複数いただいています。その都度、生徒に指導しています。具体的な場面に触れながら指導します。

○担任に限らず、先生が生徒を呼び捨てにすることがある。

丁寧な言葉遣いをするのは大切です。職員に指導しました。

○授業中にふざけている生徒をきちんと注意してほしい。

他に迷惑をかけることは許されません。職員全員で確認し合いました。

○子どもが学校での出来事を言わないので、学校生活がよく分からない。

教頭先生が四中ホームページのブログを一日おきくらいのペースで更新し、日々の学校生活の出来事を載せています。ぜひ、ご覧ください。

○子どものことで相談したいが、先生方は、放課後も部活動等があり、躊躇している。緊急性が高いときは直接電話するが、そこまで高くないときは電話、手紙どちらがよいか。また、比較的負担の少ない時間帯があったら教えてほしい。複数の保護者から似たような意見を聞いている。たより等で教えてほしい。

12月の各学年だよりでお返事させていただきました。

→確かに日中は、授業や生徒のことなどで対応できないことが多いです。しかし「この時間なら大丈夫」という時間帯も決まっていません。したがって、緊急性の有無にかかわらず、気になることがあれば、電話でも手紙でも、保護者の良い方法、良い時間に連絡ください。すぐにお返事できなくても、手紙で返事をしたり、折り返し電話で連絡させていただいたりします。遠慮なく連絡ください。

○給食のエプロンがほつれている場合、縫い直している。しかし、生地そのものが薄くなったり、破けそうだったり、紐がちぎれそうだったりすることがある。対策を講じてほしい。

エプロンを確認し、対策を検討します。

○塚野目地区も冬季のスクールバスを出してほしい。または、越後交通のバス運賃の無料化をお願いしたい。

三条市の規則により、該当地区の生徒に、冬季のスクールバスの配車や遠距離通学費補助が出ています。要望をいただいたことを市に伝えますが、すぐにご要望に応えることは難しいと思います。

○通学路に防犯カメラを設置してほしい。

昨年度、三条市は地域の方々と相談し、小学校の通学路に防犯カメラを設置しました。四中の通学路にも防犯カメラが複数設置されています。現段階では、小学校通学路の防犯カメラで対応しています。

○足が不自由なので、懇談会は1階で実施してほしい。

懇談会は、お子様が日々学習する教室の様子もご覧いただきたいので、教室開催を原則としています。個別の理由があれば遠慮なくお申し出ください。対応します。

多方面からのご意見ありがとうございました。検討を進め、改善できるものは改善し、市教委へ要望するものは要望してまいります。

－ 7 －